

高校寄せ書きノートの店「有薫酒蔵」訪問記

丸山 隆平 (9組)

上原昇(2組)、西村賢治、宮原豊、丸山(9組)の四名で、6月26日(木)、どしゃ降りの雨の中、新橋の居酒屋「有薫酒蔵」(港区新橋1-16-4)に行ってきた。<http://www.shinbashi-yukun.com/>

この店は2千冊を超える「高校よせがきノート」で有名。店を訪れた全国の高校の卒業生が各校ごとにつくられたノートに寄せ書きをしている。

雑誌で存在を発見してすぐにネットで検索したので、母校のノートがあることはわかっていたものの、席についてリストを追ってみるが「長野県上田高等学校」の名前が見つからない。

「おかしいな」。

隣の宮原がメガネをかけて探すがやはり見当たらない。

「老眼のせい？」

ついに諦めて店の女性(これまたいずれがアヤメかカキツバタ)に探してもらう。

持参頂いたノートの番号は3桁(687番)だったから結構早い段階でつくられていた。

この九州郷土料理の店、雑誌の記事によると福岡県出身者が「寄せ書きノート」を始めたのがきっかけで、おかみはノートを自宅まで持ち帰り、ラベルを貼り直したりして大切にみついているとのこと。

母校のノートを開くと、同期では原田義則教授(3組)や山浦信幸常務(10組)、小島幸一社長(3組)の名刺と寄せ書きが見つかった。(肩書きはいずれも来店当時のもの)

では、「我々も」と名刺を貼り付け、書き出すころにはロックの焼酎が効き始めて何を書いたのかよく覚えていない。

今度は誰が書き込むのかな？

(2013年6月26日、丸山隆平記)

写真1 上田高校の寄せ書きノート

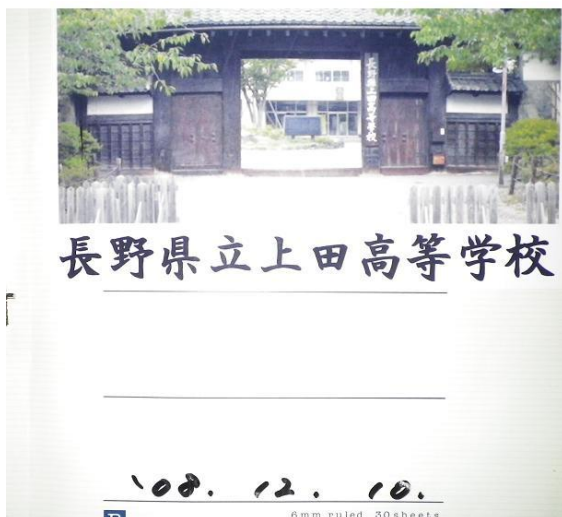


写真2 左から丸山、西村、宮原、上原、おかみ

